

言語学 研究  
*Linguistic Research*

第11号

1992

言語学研究  
*Linguistic Research*

第11号

1992

## 目 次

### 論 文

- モーラ音素及びアクセントがリズムに与える影響と七五定型のリズム  
岩井 康雄 ..... 1
- 現代口語ビルマ語の名詞節標識-ta\_・-hma\_の用法・機能  
澤田 英夫 ..... 25
- 中国語と日本語の受動文の構造について - 語彙的受動文と統語的受動文 -  
沈 力 ..... 63
- 日本語における照応表現の局所的束縛と述語の再帰表示  
中村 裕昭 ..... 97
- 小節の内部構造と格理論  
橋本 喜代太 ..... 125
- フランス語における文体的倒置構文の分布上の制限について  
藤田 健 ..... 143
- 使役表現と受身表現の接近に関するおぼえがき  
早津 恵美子 ..... 173
- 海外調査報告
- モンゴルとその言語  
橋本 勝 ..... 257
- タイムイル半島(シベリア)のドルガン族の言語資料ノート  
藤代 節 ..... 261
- 京都大学言語学懇話会 1992年度活動報告 ..... 285

---

---

1992年12月1日 発行

編集委員：家本太郎，岸田泰浩，菅原 睦，小森淳子，  
吉田夏也，高橋慶治

発行者：京都大学言語学研究会

〒606-01 京都市左京区吉田本町  
京都大学文学部言語学研究室内

---

Edited by Taro IEMOTO, Yasuhiro KISHIDA,  
Mutsumi SUGAHARA, Junko KOMORI,  
Natsuya YOSHIDA,  
and Yoshiharu TAKAHASHI

Published by Kyoto University Linguistics Circle  
c/o Department of Linguistics,  
Faculty of Letters, Kyoto University,  
Yoshida-Hommachi, Sakyo-ku, Kyoto,  
606-01 Japan

---

印刷所：昭和堂印刷所

〒606 京都市左京区百万遍交差点上ル東側

---

---